

9th Jan, 2010

公平配分に関する古典理論

1. アリストテレス的平等原則

1) 分配的公正は比例的配分？

企業の倒産 (firm's bankruptcy)、

遺産相続 (bequests to heirs)、

公共リスクへの責任

ニューヨーク州控訴裁判での判決、モントリオール議定書

2) アリストテレスの公正原則

人の平等と分け前における平等

3) 比例的配分的前提条件

分割可能性 ・ 要求 (責任) が共通尺度で測度化可能

要求状況のタイプ

1)配分対象資産の特別な部分に対する要求

遺言書にもとづく土地の相続問題

----->C Gルール？

2)配分対象資産のある量の要求

不随意的状況：遺言書にもとづく資金的相続問題、

企業収益の配分問題、

企業破産の責任配分問題など

----->比例的配分？

CGルール

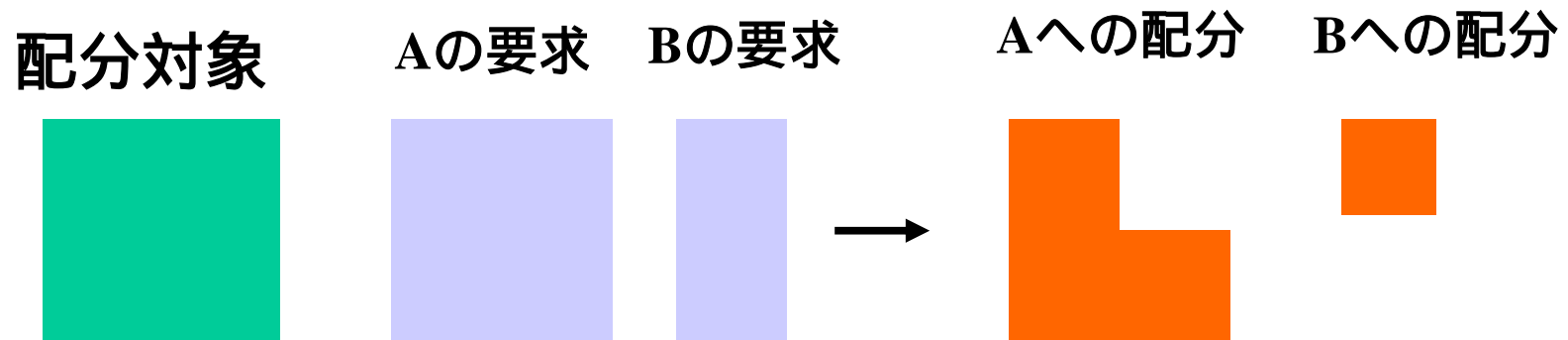
The Contested Garment Rule

奪い合って擦り切れた布切れのルール？

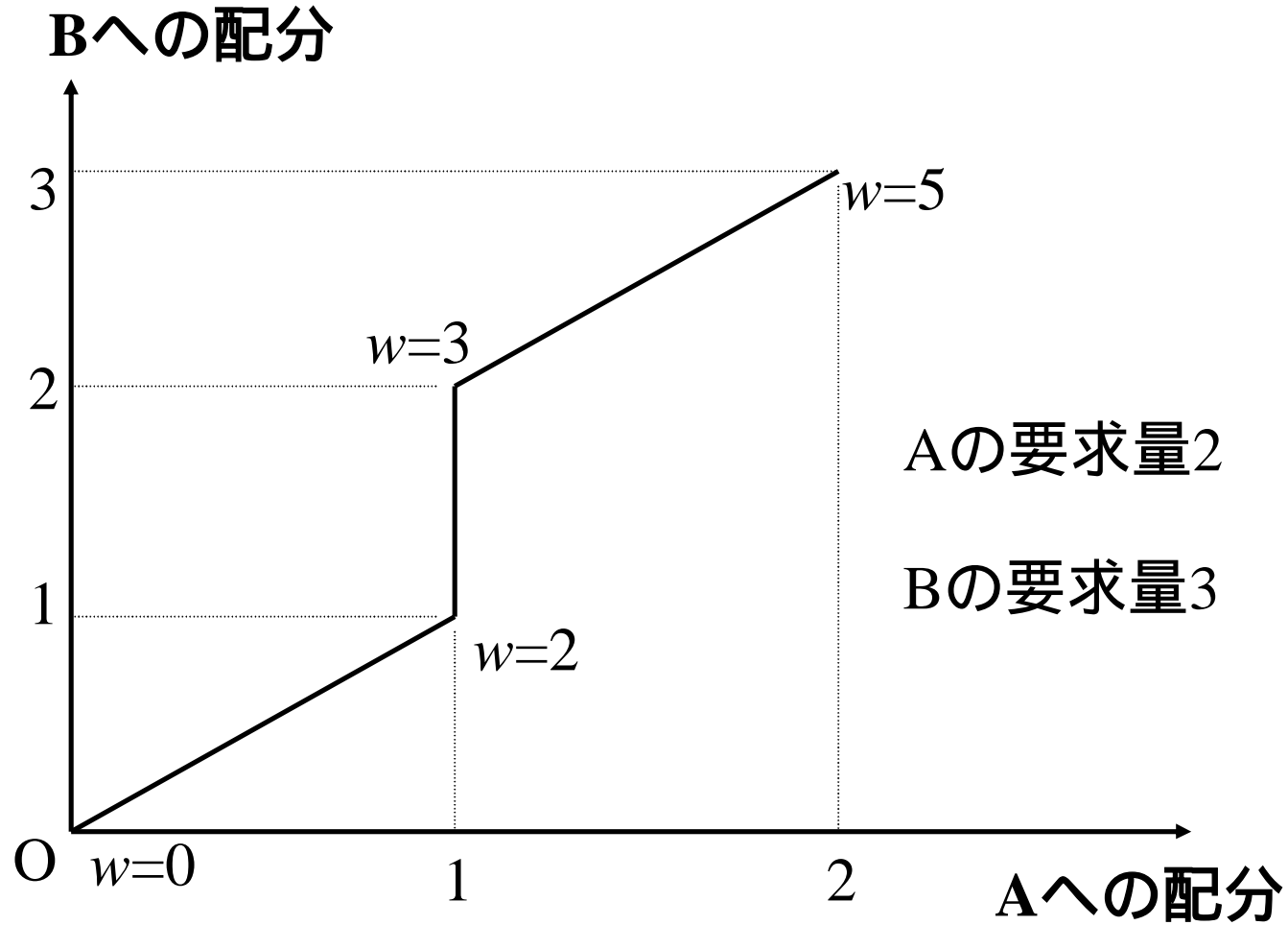
- バビロニアタラムード (Babylonian Talmud) のミシュナ (Mishna) に集録

- 2人版CGルール

競合部分は均等配分、1人だけの要求部分はそのまま配分



配分対象量 v の大きさと配分の関係



手続き論によるCGルール of 解釈

run-on-the-bank procedure

配分対象資産へのアクセス(機会)の平等

$$A: 1 * (1/2) + (1/2) * (1/2) = 3/4$$

$$B: (1/2) * (1/2) + 0 * (1/2) = 1/4$$

競合部分均等による解釈では、要求者が3人以上のとき、一意性がないが、手続き論的解釈では一意に決定。

例:

配分対象量が $w=4$ 、A,B,Cの要求量がそれぞれ、

$r_A=1$, $r_B=2$, $r_C=3$ のとき、

配分は、Aに $2/3$ 、Bに $7/6$ 、Cに $13/6$ に決定される。

シャプレイ値との同等性

- 手続き論的決定はシャプレイ値と同値

要求者 A_1, A_2, \dots, A_N について、

$$v(A_{k1} A_{k2}, \dots, A_{kM}) \quad (1 \leq k \leq N)$$

は、前述の手続きによって、要求者たち $\{A_{k1} A_{k2}, \dots, A_{kM}\}$ に最低限配分される量の総量として計算

先の例では、

$$v(A)=0, \quad v(B)=0, \quad v(C)=1,$$

$$v(AB) = 1, \quad v(BC)=3, \quad v(CA)=2, \quad v(ABC)=4$$

手続き論的決定(シャプレイ値)の矛盾

(その1) $c_A = 2, c_B = 3, a_0 = 3$ 配分は、Aに1、Bに2
 $c_A = 1, c_{A'} = 1, c_B = 3/2, c_{B'} = 3/2, a_0 = 3$
配分は、A(A')に7/12 B(B')に11/12
要求者を分割すると配分は増える??

(その2) $c_A = 1, c_B = 2, c_C = 3, a_0 = 4$ の例において、
AとBに配分された11/6をシャプレイ値で配分するとそれぞれ、
1/2, 4/3 となる。
部分社会{A, B}の中ではAは不満ではないか??

タルムードの配分との比較

RESOURCE/CLAIM	[タルムード]			[シャプレイ値]		
	A	B	C	A	B	C
1	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3
2	1/2	3/4	3/4	1/3	5/6	5/6
3	1/2	1	3/2	1/2	1	3/2
4	1/2	5/4	9/4	2/3	7/6	13/6
5	2/3	5/3	8/3	2/3	5/3	8/3

- 均一配分と比例配分の混合？
- C Gルールの一貫性 どの2人のペアもC Gルールとなる配分

一般化C Gルールのアロリズムの発見

1) マイモニデスルール(Maimonides' Rule)

要求量を越えない範囲での均等配分

$$\sum_{i=1}^n \min\{x, c_i\} = a_0 \quad a_i = \min\{x, c_i\}$$

2) 一般化されたC Gルールの配分量の決定法

(Aumann & Maschler(1985))

a_0 (1/2) $\sum_{i=1}^n c_i$ のとき、

要求量の半分を越えない範囲での均等配分

---> Maimonides' Rule

$$\sum_{i=1}^n \min\{x, c_i/2\} = a_0 \quad a_i = \min\{x, c_i/2\}$$

a_0 (1/2) $\sum_{i=1}^n c_i$ のとき、

損失の均等配分

$$\sum_{i=1}^n \min\{x, c_i/2\} = \sum_{i=1}^n c_i - a_0$$
$$a_i = c_i - \min\{x, c_i/2\}$$

再び、仁(Nucleolus)

1) レキシミン順序

マクシミン順序の一般化

2) 定義 (Schmeidler(1969))

最大不満最小化の原理、協力ゲーム (N, v)

$B = \{ x \in E^N \mid \sum_{i \in N} x_i = v(N) \}$: 効率的配分の集合

$$e(x; S) = \sum_{i \in S} x_i - v(S) \quad (x \in B)$$

効率的配分の中で e の最小値を最大にする配分

(もし一意に配分が決まらない場合は、2番目に小さい値を最大...)

仁

3) 仁の特徴づけ

$$\min_{S \subseteq N} \max_{x \in B} e(x; S) = \min_{S \subseteq N} \left(\sum_{i \in S} x_i^* - v(S) \right)$$

$$= \max_{x \in B} \left\{ \min_{S \subseteq N} \left(\sum_{i \in S} x_i - v(S) \right) \right\}$$

仁とタルムードの同値性

EXAMPLE

配分対象量が $w=2$ 、A,B,Cの要求量がそれぞれ、 $r_A=1$, $r_B=2$, $r_C=3$.

1 . 協力ゲームとして定式化

$$v(\mathbf{A}) = v(\mathbf{B}) = v(\mathbf{C}) = \mathbf{0} ,$$

$$v(\mathbf{AB}) = v(\mathbf{CA}) = \mathbf{0} ,$$

$$v(\mathbf{BC}) = \mathbf{1} , v(\mathbf{ABC}) = \mathbf{2}$$

2. コアの図示

高さ2の正三角形

$v(\text{AB})$

$${}_{A,B}x_i$$

$$x_A + x_B = 0$$

$v(\text{CA})$

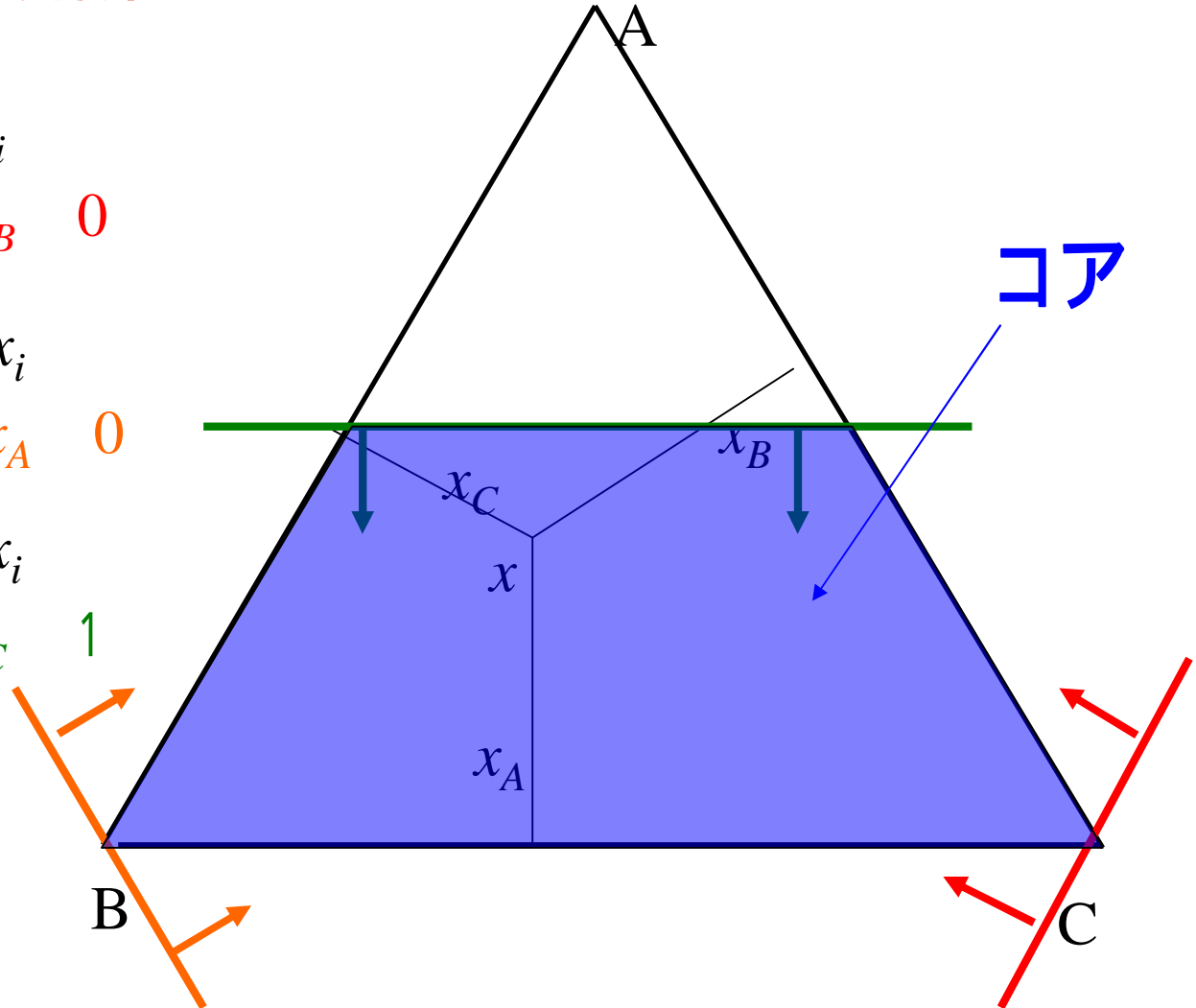
$${}_{C,A}x_i$$

$$x_C + x_A = 0$$

$v(\text{BC})$

$${}_{B,C}x_i$$

$$x_B + x_C = 1$$



3. シャプレイ値の計算

$$\begin{aligned} 6 \quad \phi_A &= \frac{ABC}{v(A)-v(\quad)} + \frac{ACB}{v(A)-v(\quad)} \\ &+ \frac{BAC}{v(AB)-v(B)} + \frac{BCA}{v(ABC)-v(BC)} \\ &+ \frac{CAB}{v(CA)-v(C)} + \frac{CBA}{v(ABC)-v(BC)} \\ &= 2 \quad (\phi_A, \phi_B, \phi_C) = (1/3, 5/6, 5/6) \end{aligned}$$

4. 仁の計算

$$e(x; A) = x_A (= \quad), e(x; B) = x_B (= \quad),$$

$$e(x; C) = x_C = 2 - (\quad + \quad), e(x; AB) = \quad +$$

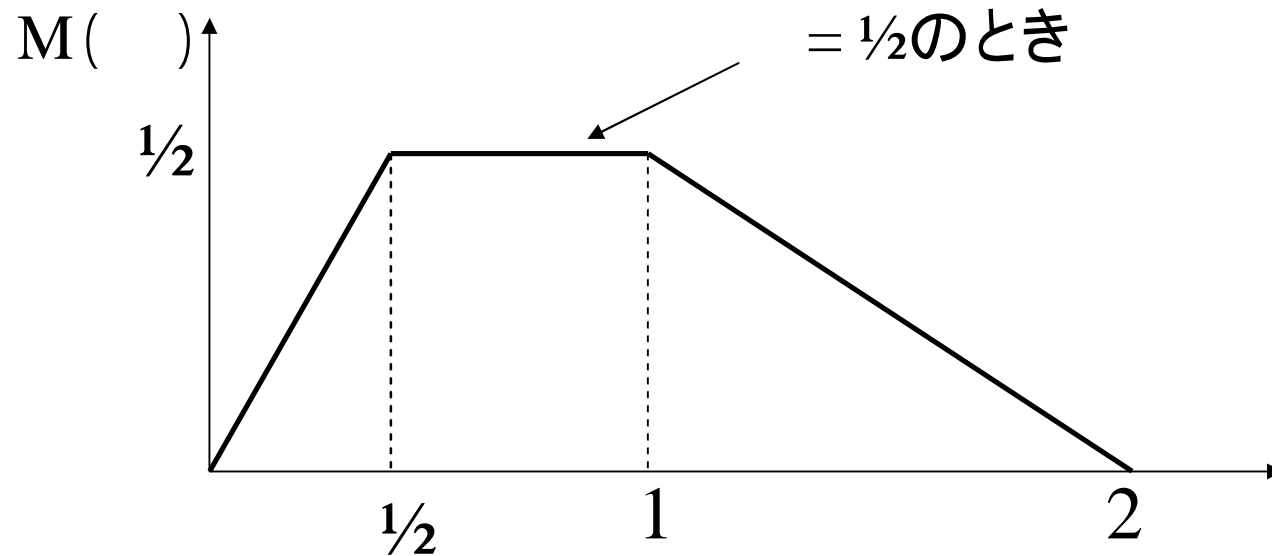
$$e(x; CA) = 2 - \quad, e(x; BC) = 1 -$$

$$\min\{ \quad, \quad, 2 - \quad - \quad, \quad + \quad, 2 - \quad, 1 - \quad \} \quad \text{Maximize}$$

s.t. \quad, \quad

\min 内を \quad の関数として, 最小値を $M(\quad)$ とおくと、

$$M(\quad) = \begin{cases} \quad & (0 < \quad < 1/2) \\ 1/2 & (\quad < \quad < 1) \\ 1 - 1/2 & (1 < \quad < 2) \end{cases}$$



$= 1/2$ のとき,

$$\min \{ \quad, \quad, 2- \quad - \quad, \quad + \quad, 2- \quad, 1- \quad \}$$

$$= \min \{ 1/2, \quad, 3/2- \quad, 1/2+ \quad, 2- \quad, 1/2 \} \quad (1/2 \quad 1)$$

$\min \{ \quad, 3/2- \quad, 1/2+ \quad, 2- \quad \}$ を最大にする \quad は, $= 3/4$

$$x_A = 1/2, x_B = 3/4, x_C = 3/4 \quad (\text{タルムードの解!})$$